

前回からの続きの部分です。ここで田母神論文の冒頭に出てくる「[アメリカ合衆国](#)軍隊は日米安全保障条約により日本国内に駐留している。これを[アメリカ](#)による日本侵略とは言わない。」とほとんど同じような表現が出てきます。彼はこの本「東條英機 歴史の証言」を精読したな、と思ったものでした。

## 「幣原外交」が日本にもたらした結果とは

ここで幣原外相(日本の敗戦後に首相)について触れます。彼の外交は「幣原外交」(外相就任期間は中断をはさみ大正13年6月-昭和6年12月)と呼ばれ、協調外交とも弱腰外交ともいわれますが、少なくともシナ人に対しては、「ご機嫌取り」に見える紳士的な対応は、よい結果をもたらさないのが常でした。

それは現在の日本の悲劇にも通じることで、いまでは京都大学の中西輝政教授のように、日本を戦争に追い込んだのは松岡洋右のような極端なナショナリズムの外交と、幣原の極端な宥和政策の両方であったとする研究者もいます。どちらも有害ですが、公平に見れば、松岡外交は後年ですから、歴史的に見れば、それに先行した幣原の政策が間違っていたと思います。

たとえば昭和2年(1927年)の[南京事件](#)のときに、日本も[アメリカ](#)や[イギリス](#)艦のように[大砲](#)を撃てばよかったです。そうすればなめられることもなかったでしょうし、[イギリス](#)も[アメリカ](#)も、日本も行動を一にしたというわけで、同盟国的な感情を持ったと思います。ところが日本だけ攻撃しなかったので、英米の中に、「日本だけ抜け駆けをしてシナに取り入り、利益を独占する気か」という無用の疑念を引き起こす結果となりました。

それ以外にも幣原は、諸外国に打診することなしに、単独で日中関税協定(昭和5年-1930年5月)に調印して、[中国](#)に関税自主権を認めるなど、宥和のために、いろいろ好意にあふれる政策を取りました。これも日本の「抜け駆け」として欧米諸国の疑惑を招きました。たとえば幣原以前にも西原借款であるとか、シナ政府にお金を貸してやれば助けになるだろうということで種々の試みがありましたが、結局はシナ側の借りっぱなしで終わって、なんら宥和の役にも立ちませんでした(西原借款とは、寺内正毅内閣が段祺瑞内閣に貸した1億4500万円のことですが、そのうち返されたのは500万円だけでした)。

つまり幣原外交は、英米に対してはいらぬ不信感を起こさせ、シナからは舐められるという結果を引き起こしただけでした。

当時、奉天総領事をしていた[吉田茂](#)などは、交渉というものは武力を背景にしないと意味がないと、後の東條さんと同じようなことを言っています。いまからすると、日本の中央政府が行なったシナ人に対する甘やかし政策は逆効果で、毅然とした態度こそが平和を維持する道であることを認識すべきでした。それが近ごろの公平な見方になってきていると思います。



関東地方は平野部でも一部紅葉が見られるようになりました(4日、茨城県結城市で撮影)

## 盧溝橋事件は共産軍兵士の仕業

昭和12年(1937年)の盧溝橋事件にしても、いまでは明らかに蒋介石の国民政府軍中に入り込んだ共産軍の兵士(一説では劉少奇の部下)が撃ったものであることが明らかになっています。ですから当時は国民政府軍も実態がわかっていたなかつたと思います。そもそも日本軍から攻撃したということは、まったくありえない話です。なぜなら、そのとき日本軍は軍事訓練をやっていましたが、鉄かぶともかぶっていません。鉄かぶともかぶらずに敵に攻撃をしかけるなどというバカなことはありません。

日本の左翼の人たちの中には、なぜそんなところで日本軍が訓練をしていたのかと言う人がいますが、それは条約に基づいて進駐していたのであって、いま沖縄にアメリカ軍が進駐しているのと同じことです。

盧溝橋でも、交渉で一度は話がつきまします。しかし、すぐ破られる。また話をつける。また破られるという繰り返し、何回もありました。そのうちに盧溝橋事件から約三週間後(7月29日)の通州事件で在留邦人が200人以上も殺されました。日本は当初から、とにかく事変が拡大しないよう、抑えよう、抑えようとしていたのに、挑発、挑発と重ねていったのはシナの側だったのです。

ここではっきり言えば、日本を悪者にするために開かれた東京裁判も、支那事変の開戦責任に関しては日本に問うことができなかったのです。このことは力を込めて、主張しておくべきだと思います。

平成17年(2005年)の10月、私は中国の駐日大使、王毅氏と話し合う機会があり、その時に、そのことを述べましたが、王毅大使はこれを否定しませんでした。これは速記録に残っています。

話を戻すと東條英機は、盧溝橋事件が起こったときの関東軍参謀長でした。昭和10年(1935年)に関東憲兵隊司令官、関東局警務部長と歴任し、昭和12年(1937年)3月1日、関東軍参謀長に就任しています。重ねて指摘しますが、支那事変のはじまりとは全く関係ありません。東京裁判では、支那事変についても首謀者であるかのように言われたのですが、本人が完全に否定しているのが、このくだりです。

カテゴリ: コラム フォルダ: 指定なし   

コメント(7)

タグ: 盧溝橋事件 支那事変 満州事変 幣原外交 東條英機 渡部昇一

コメント(7)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by **hoihoihoi** さん

2008/11/09 11:52

花うさぎ様

今回も当時の流れが良く分かる分析です。説得力があり日本が引き起こしたとの説の不自然さを感じさせません。サヨクは東條さんを悪者にしてますが、異常なほどの準備魔であったほかは、それなりの判断をしています。優れたエントリー、理解が深まりました。お礼申し上げます。



Commented by **花うさぎ** さん

2008/11/09 17:44

To hoihoihoiさん こんにちは。

孫の七五三からいま帰ってきました(^^)。

この渡部昇一氏の口癖は「東條英機は一貫して日本の戦争は自存自衛の戦いだったと主張した。後にマッカーサーもそれを認めた」と言うことです。

それなのに60年も経過した今の日本の言論空間は「日本は侵略戦争をしたのだ。それに異論をとねえることは許さない」という異常なものです。

何とか早く多くの日本人が「自虐史観」から脱してほしいと願ってます。



Commented by **花うさぎ** さん

2008/11/09 18:32

・お知らせです

維新政党・新風平成二十年党大会

日付 平成20年11月15日(土)

会場 KKRホテル広島 広島市中区白島町19-65 電話082(221)3736

次第【第1部】全国代議員総会・・・午後1時

【第2部】報告会・・・午後2時

【第3部】記念講演会・・・午後3時15分～4時30分

講師・東谷暁先生(ジャーナリスト)  
 演題『グローバル経済と国家の復活』  
 【第4部】懇親会……午後5時～6時30分

2008/11/09 18:42

※参加費／第3部まで参加費2000円、第4部までの参加費10000円(学生半額)。出席希望者は事前にご連絡下さい。

維新政党・新風本部事務局  
 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-6-4第三カネタツビル103  
 電話03(5642)0008 FAX03(5642)0009



Commented by [花うさぎさん](#)  
 ・お知らせです。

#### 第4回教科書改善シンポジウム

「日本文明の創造力～子供たちに伝えよう、元気な日本～」  
 文明シンポジウム第2弾！海洋国家日本と国際環境、自然との共生、日本人の宗教心など、日本文明の持つ可能性を語る！

#### ■登壇者

村上和雄氏(筑波大学名誉教授)  
[渡辺利夫氏](#)(拓殖大学学長・『新 脱亜論』著者)  
 呉善花氏(拓殖大学国際学部教授・日本文化研究家)  
 田中英道氏(東北大学名誉教授)  
 コーディネーター  
 伊藤隆氏(東京大学名誉教授・育鵬社歴史教科書編集会議座長)  
 主催者挨拶  
 屋山太郎氏(教科書改善の会代表世話人・政治評論家)

■日時 11月15日(土) 13時30分開会(13時開場)16時30分閉会予定

■会場 ハリウッドホール (ハリウッドビューティープラザ5階)  
 [港区六本木6-4-1 六本木ヒルズ ハリウッドプラザ]

■定員:500名(先着順)

■参加費:1,500円 ※学生は1,000円(当日受付へ)

■お申込み 住所、氏名、電話番号を明記の上、「文明シンポ2申込み」と書いて、【FAX】03(3835)2436 【E-Mail】office@kyoiku-saisei.jp 【郵送】〒110-0001 東京都台東区上野1-17-1大湖堂ビル4階  
 教科書改善の会

■主催:教科書改善の会 お問い合わせ 03-3831-7620

共催:日本教育再生機構



Commented by [花うさぎさん](#)  
 ・お知らせです。

2008/11/09 18:48

[靖国神社](#)崇敬奉賛会主催 第10回公開シンポジウム  
 生きるということ～日本と[靖国神社](#)の十年後～

時 11月15日(土) 入場無料・申込不要  
 所 九段会館大ホール

[靖国神社](#)崇敬奉賛会では、来る11月15日土曜日午後2時から九段会館大ホールにて、第10回公開シンポジウム「生きるということ～日本と[靖国神社](#)の十年後～」を開催いたします。

第一部では、「これでいいのか日本」と題し、本会会長・[扇千景氏](#)による基調講演  
 第二部では、「日本と[靖国神社](#)の十年後」をテーマに、ジャーナリスト・打越和子氏の進行により、[扇千景氏](#)、明星大学教授・高橋史朗氏と共に、トークセッションを行ないます。

\*申し込みは不要です。当日、直接九段会館大ホールにお越し下さい。先着順にご入場いただきます。

Commented by [故郷求めてさん](#)

2008/11/11 08:41



ちょうど先日、図書館で借りて来たのがこの本です。しかし、読み始めてじきに  
期限が切れ、督促のメールをいただいてしまいました。  
なおこの部分は読んでいました。タイムリーですね。

2008/11/11 09:33



Commented by **花うさぎ** さん

To 故郷求めてさん

おはようございます。そうですね(^^)。

当方、近くに図書館がないのでほとんど購入してます。近くに図書館がある人がうらやましいです。